

手作り体育用具届ける

田辺工業高が田一小へ

田辺市あけぼのの田辺工業高校機械科3年生がこのほど、田辺第一小学校(田辺市上屋敷1丁目)に手作りの体育用具を届けた。

制作した大仲絢君(18)と田尾隼人君(18)らが田辺第一小を訪れ、児童に制作を通じて学んだことや作り方などを伝えた。

田辺工業高校は手作りの用具を小学校に届ける活動を続けている。今回は田辺第一小からの依頼で、課題研究「人からの役に立つ物を作る班」の機械科3年生5人が高跳びの支柱7組、逆上りの補助器具1台、サッカーゴール一つを作った。鋼などを使い、旋盤やフライス盤、溶接の技術、

大仲君は「失敗ばかりでしたが、自分の将来につながることも学ぶことができた」、田尾君は「ほとんどが初めての作業。使ってもらおう物なのできちんと作ろうと頑張った。良い経験になった」と話した。

数学の知識などを生かし、角を丸くするなど安全面も考えて仕上っている。

田辺工業高校の生徒手作りの用具で高跳びを見せる児童(田辺市上屋敷1丁目で)

